

各位

福岡市動物園・筑紫女学園大学の共催講演会開催！！ 『マレーシアの野生に生きる動物たち』

福岡市動物園にて平成30年11月10日（土）に『マレーシアの野生に生きる動物たち』というテーマにて講演会を開催いたします。マレーシアは豊かな熱帯雨林を有し、多様な野生生物が生息する国です。このマレーシアで筑紫女学園大学 教授 佐々木 浩とカワウソの共同研究している野生生物専門家を講師として招いて、マレーシアに生息する動物たちの魅力や保全の取り組みについてお話しいたします。現地の専門家の話を直接聞くことができる大変貴重な機会となっております。講演は英語で行われますが、日本語による随時説明をいたします。

講演会の関連イベントとして、子どもたちが参加して楽しめるスポットガイド『アジア熱帯渓谷エリアのどうぶつガイド』を開催いたします。夜の動植物園で使用した4K動画による動物紹介やオランウータン、コツメカワウソ、マレーグマのスポットガイドをいたします。ぜひとも取材いただけますようお願い申し上げます。

《詳細》

開催日時：平成30年11月10日（土）13:30～14:50

会場：福岡市動物園 動物情報館 ZooLab（ズーラボ）多目的ルーム

講師紹介

シューコール・モドゥ・ノル 博士



マレーシア国民大学理工学部環境・天然資源科学科教授。専門は野生生物の研究と管理。獣医師。サバ州キナバル山の小型哺乳類の多様性を研究し1997年にアメリカイリノイ大学で博士号を取得。最近の20年では、スマトラサイ、オランウータン、カワウソなどのマレーシアでの保全プロジェクトを実施している。

パジル・アブドゥル・パタ 博士



半島マレーシア野生生物国立公園局に22年勤務し、現在、野生生物保全部長。マレーシア国民大学においてカワウソの保全に関する生態を研究し博士号取得。現在、筑紫女学園大学とマレーシア国民大学と共に、カワウソ保全プロジェクトを実施している。

バドゥルル・ムニール・モドゥ・ザイン 博士



マレーシア国民大学理工学部環境・天然資源科学科教授。分子系統学と霊長類学を24年研究。現在は、マレーシアの霊長類、先住民、マレーシアの保護されている哺乳類や霊長類の古代DNA、生態や行動を研究している。プキメラオランウータン島財団理事。東南アジア霊長類学会連絡担当元副代表。



〇イベント

①半島マレーシアにおける野生生物研究

シューコール・モドゥ・ノル 博士

②半島マレーシアにおけるカワウソの生態と保全

パジル・アブドゥル・パタ 博士

③マレーシアの絶滅危惧哺乳類の生息域外保全

バドゥルル・ムニール・モドゥ・ザイン 博士

【取材対応について】

〇取材を希望される場合は、事前にこちらまでご連絡をお願いいたします。

◆法人本部 総務部（電話 092-925-9918（直通） 担当：吉原、泉田）

〇内容に関するお問い合わせは、直接こちらまでご連絡をお願いいたします。

現代社会学部 現代社会学科 教授 佐々木 浩（E-mail hsaakii@chikushi-u.ac.jp）

【窓口時間】月～金 9:00～17:00

以上 ご案内申し上げます。